

4年生、あつまれ!

6月25日は茅野市民館で ^{しばい}お芝居をみよう!



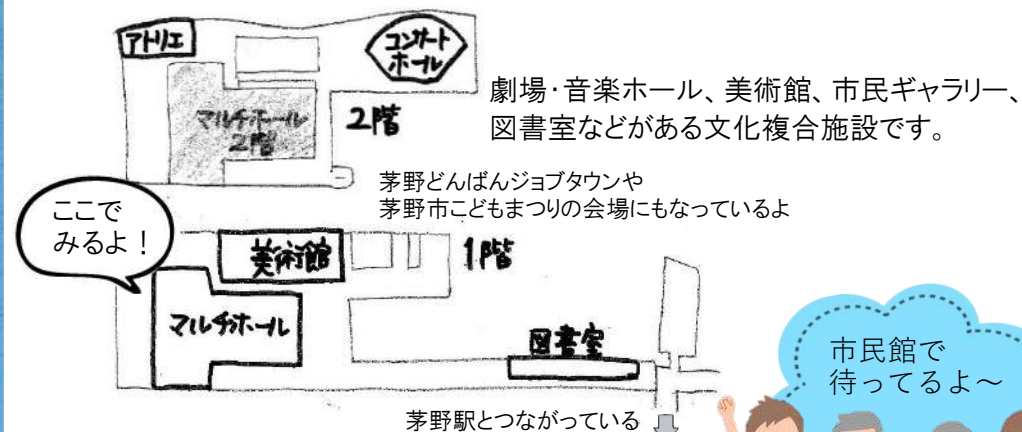
- ・チケットはひとり1枚持って入場します。
- ・今回は指定席です。チケットに書いてある番号の席にすわりましょう。
- ・劇に関係ないおしゃべりは、公演が終わってからにしましょう。
- ・途中でトイレに行くときは、静かに出入りしましょう。



劇場の人が
もぎります
(切りはなします)

すわる席の番号が
書いてあります

茅野市民館って どんどころ?



市民館で
待ってるよ～

人形劇 ニルスの ふしぎな旅

人形劇団 むすび座



2026年

6月25日(木)

9:30 開演 / 9:00 開場

茅野市民館
マルチホール

みんなの劇場

“劇場”ってどんどころ?
お芝居をみたり、音楽をきいたり、
ドキドキわくわくと出会うところ!
そんな“劇場”に、
茅野市内の小学校4年生の
皆さんをご招待します。

人形劇 ニルスの ふしぎな旅

ニルスとともに
ラップランドへ！

「ニルスのふしぎな旅」には、いろいろなタイプの人形が登場します。
その中でも大きな人形は「三人遣い」と呼ばれるもので、その名の通り3人の役者で1体の人形を遣います。

3人の遣い手の役割分担は、

★頭と片方の手を遣う**主遣い**
おもづか

★足の補助を行なう**足遣い**
あしづか

★主遣いがつかわない方の手を
補助する**手遣い**
てづか
となります。

手遣い 主遣いが遣わないほうの手を遣います。
自分の片手が空くので、小道具を隠し持ったりして
いることもあります。

← **主遣い** 人形の目線の方向に
注意して頭と片手を遣います。
人形が低くなると足遣いの人に
負担がかかるので、全体の高さ
にも注意。

足遣い 両足を遣います。人形
の全体のバランスに関係のある重
要な役目です。



<あらすじ>

いじわるで怠け者、勉強も大嫌いなニルスは、
両親も学校の先生も友達も、誰一人好きになれませんでした。
ある日ニルスは妖精を怒らせて小人にされてしまいます。
ガンの群れと一緒に旅をしようと羽ばたいた
ガチョウのモルテンに飛び乗り、
空高く舞い上がったニルスは…

さあ、ニルスといっしょに旅に出よう！

原作はスウェーデンの女性作家

セルマ・ラーゲルレーヴが書いた『ニルスのふしぎな旅』。

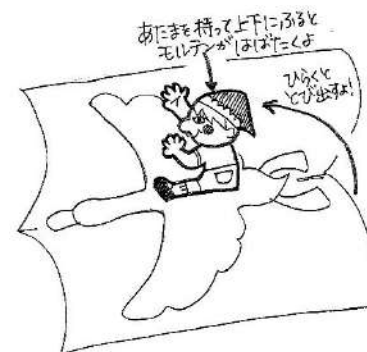
日本でも、いくつもの出版社から本が出されていて、

テレビアニメにもなりました。

多くの子どもたちに愛されてきた物語、
ぜひ原作も読んでみてくださいね！

スウェーデンって
どこにあるのかな？
どんな国かな？
調べてみると
おもしろいよ！

さあ、みんなも
モルテンに乗って
旅に出よう！



【作り方】

①下の○と△にモルテンの
背中に乗っている自分の絵
をかいてみよう！

②○には顔、△には体をか
いて切りとり、点線で山おりに
しよう。

③○(顔)の裏にのりをぬ
って、はり合わせよう。

④のりしろにのりをつけて、左
のモルテンの背中にはろう。
★と★、□と□をはりあわせ
てね！

